

平成 1 9 年度

社団法人 全国大学体育連合

事業報告書

## 平成19年度 事業活動報告

常務理事会

### テーマ

Public Mission (大学体育の社会的使命) の探究

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 1. 評価事業の推進      | FD推進部     |
| 2. 新規事業の検討      | 全         |
| 3. 研修会の推進充実     | 研修部       |
| 4. 新規会員(賛助会員)勧誘 | 総務部       |
| 5. 会費問題の検討      | 将来検討特別委員会 |

### 推進事業

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1. 関連団体との協力事業の促進  | 総務部          |
| 2. 教育研究論文号の充実     | 教育研究論文誌編集委員会 |
| 3. HPの充実と活用       | 情報企画部        |
| 4. 若手(役員・運営委員)の育成 | 全            |
| 5. 支部活動の支援        | 総務部          |
| 6. 大体連シンポジウムの実施   | 情報企画部        |
| 7. 適正な会計処理        | 総務部          |
| 8. 課外活動問題の整理      | 将来検討特別委員会    |
| 9. 大学体育綱領検討       | 将来検討特別委員会    |

## 平成19年度 総務部事業報告

本年度の基本方針は「本連合の円滑な運営、定款改正に伴う諸規定見直しと新規会員募集への取り組み」である。

### 会議関係等

#### 總會、理事会、常務理事会、支部長会、部長会

平成19年 4月20日：第1回常務理事会  
5月25日：第2回常務理事会・第1回部長会  
5月25日：第3回常務理事会  
6月29日：第4回常務理事会・第2回部長会  
7月20日：第5回常務理事会・第3回部長会  
8月17日：第6回常務理事会・第4回部長会  
9月28日：第7回常務理事会・第5回部長会  
10月20日：第8回常務理事会・第6回部長会  
11月25日：第7回部長会  
12月21日：第9回常務理事会・第8回部長会  
平成20年 1月25日：第10回常務理事会・第9回部長会  
2月22日：第11回常務理事会・第10回部長会  
3月12日：第12回常務理事会・第11回部長会  
3月22日：通常総会・理事会

**監査**：平成19年 5月17日 平成18年度収支決算監査  
平成20年 3月 7日 平成19年度収支精算監査

**部会**：平成19年10月20日

### 事業関係等

#### 事務の適正な運営

会計処理（税務処理を含む）の適正な執行（公認会計士へ支援を委託）  
本年度井上理事が会計を担当した。

#### 各支部との連携

本年度の中央研修会が夏季において九州支部が主管でおこなわれた。また、その際、支部長会議を実施し、各支部との意見の交換をおこなった。

#### 会員データベースづくりの促進

本年度も昨年同様、会員の連絡先の確認（各大学の担当者・連絡先の確認作業）を実施した。

#### 新規会員の勧誘

非会員校及び元会員校の個人に対し、勧誘の案内とパンフレットを送付した。

#### 関連諸団体や社会への情報発信

連合の活動を理解していただくために、適宜パンフレット等を送付。

#### 賛助会員及び協賛企業の掘り起こし

賛助会員の継続と新たな会員の募集を行った。ミズノ振興財団への応募も行った。

#### 機関誌・報告書バックナンバーの管理等

#### 公益法人

文部科学省の説明会に参加し、状況の把握と情報の収集を行った。

**会員数**（平成20年1月1日現在）

国公立総合大学	49	前年1月31日	50
国公立単科大学	23	同上	24
私立総合大学	102	同上	96
私立単科大学	136	同上	136
短期大学	74	同上	78
個人	55	同上	55
計	434	同上	439

賛助会員 3 3

**事務所の業務曜日等**

業務曜日：月～金曜日（午前10時～午後4時）の5日制。

職員：油木時子、下野朋子

**構成員**

部長：宮崎正己（早稲田大学）

副部長：井上直子（青山学院大学）

委員：飯野要一（東京大学）重城哲（日本大学）高丸功（学習院大学）

松垣紀子（東京大学）村山光義（慶應義塾大学）

以上

## 平成19年度 会員異動一覧

### 1 新会員

#### 1) 大学会員

名城大学(私立単科・九州支部)  
国際武道大学(私立単科・関東支部)  
東洋大学(私立総合・関東支部)

#### 2) 個人会員

内田和寿(個人・近畿支部) 京都ノートルダム女子大学  
宮口和義(個人・北陸支部) 石川県立大学  
島田美恵子(個人・関東支部) 千葉県立衛生短期大学

#### 3) 賛助会員

日本理化学株式会社

### 2. 会員種別の変更

畿央大学(私立単科・近畿支部)、畿央大学短期大学部(短大・近畿支部)  
畿央大学(私立総合・近畿支部)

浅井学園短期大学(短大・北海道支部) 北翔大学(私立総合・北海道支部)  
非会員だった浅井学園大学が加入し名称も変更

大阪工業大学(私立単科・近畿支部) (私立総合・近畿支部)

園田学園女子短期大学(短大・近畿支部) 園田学園女子大学(私立総合・近畿支部)

10月1日大学統合により大阪外国語大学、大阪大学が大阪大学(国公立総合・近畿支部)1校となる

### 3. 退会員

#### 1) 大学会員

東京純心女子大学(私立単科・関東支部) 業務多忙のため、貴会の企画する研修会等に参加できず、  
大学会員としてのメリットが少ないため

金沢医科大学(私立単科・北陸支部) カリキュラム編成の日程の都合上貴連合の行事等に参加することが困難なため

武蔵野短期大学(短大・関東支部)

大幅な経費削減に伴い年会費が支払えない為

星薬科大学(私立単科・関東支部) 担当教員が退官のため

長野県短期大学(短大・関東支部) 予算がないため

岡山県立大学短期大学部(短大・中四国支部) 平成19年3月閉校により退会

#### 2) 個人会員

牧川優、藤澤政美、名賀三希子(個人・近畿支部) 園田学園女子大学が種別変更で会員になった為

## 平成19年度 研修部事業報告

### ・基本方針

研修事業内容の検討とメディア教材の作成

### ・会議関係

研修部会10回

中央研修会の内容検討と推薦図書等の検討を行った。

### ・事業関係

1. DVD教材作成に伴う新規種目の検討，下記3種目のDVD教材についてルール改正や講師の先生からの訂正を踏まえて編集作業を継続した。  
フットサル、バドミントン、太極拳
2. 平成19年度中央研修会を実施した。  
主催：(社)全国大学体育連合  
主管：全国大学体育連合東北支部  
日程：平成19年8月21日(火)～23日(木)  
場所：霧島観光ホテル、牧園アリーナ・公園ドーム  
種目：テニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボール  
参加者数：84名(講師、役員含む)
3. 推薦図書  
2冊・・・教養としてのスポーツ科学 早稲田大学スポーツ科学部編集 大修館  
身体活動計を用いた、新しい健康づくり 青柳幸利著 日本医療企画

### ・構成員：

部長：佐藤健(実践女子大学)

副部長：野崎大地(東京大学)、村本和世(日本体育大学短期大学部)

委員：渡辺英次(八戸大学)、掛水隆(電気通信大学)、高橋京子(早稲田大学)

## 平成19年度 情報企画部事業報告

### ・ 基本方針

大学体育に関する調査研究の実施や内外の情報収集による成果を広く速やかに会員に提供する。

### ・ 会議関係

定例部会 6回開催。 継続研究会議 各1回。

### ・ 事業関係

#### 1. ホームページとメールニュースのリニューアルと管理・運営

##### (1) ホームページ

掲載項目 月 最小 2 ・ 最多 7

アクセス数 月 最小 5696 ・ 最多 9748

##### (2) メールニュース「DAITAIREN情報」

掲載項目 月 最小 3 ・ 最多 7

#### 2. 継続研究の実施

##### (1) 体力測定結果調査研究(担当:チーフ松本副部長・太田・山本)

会員校の体力測定結果を調査。結果を報告書にまとめて発行。

##### (2) 保健体育教育実態調査研究(担当:チーフ山里副部長・松井・二宮)

来年度の全大学・短期大学(1195校)に対するアンケート調査項目の公募、検討。

\*10月10日日本経済新聞記事「大学で体育復活」が前回調査データを引用。

#### 3. 日本体育学会とのシンポジウム共催

##### (1) 9月6日神戸大学六甲台キャンパスにて開催、約380名参加。(担当:師岡部長)

特別講演「大学体育に期待するもの」薄井 洋基(神戸大学副学長)

シンポジウム「大学体育の現状と課題」

大体連調査からみた大学体育の現状と課題 小林 勝法(大体連、文教大学)

大学体育教員の課外活動支援の実態と課題 沼澤 秀雄(大体連、立教大学)

学生の授業評価からみた大学体育の現状 橋 直隆(学会、筑波大学)

コーディネーター

阿江 通良(学会、筑波大学)

師岡 文男(大体連、上智大学)

##### (2) 次年度の企画の検討、日本体育学会との交渉開始。(担当:師岡部長)

#### 4. 第50回ICHPER・SD世界大会(2008年)準備協力

2008年5月9日~13日に鹿屋体育大学で開催される国際保健体育レクリエーション・スポーツ・ダンス協議会(ICHPER・SD)世界大会組織委員会に出席。大体連継続研究の発表準備とブース設置と英文パンフレット作成準備。

#### 5. 国際スポーツ科学・体育協議会(ICSSPE)への加盟検討と常務理事会への提案(師岡部長)

国際情報を増強するためにICHPER・SD(国際保健体育レクリエーション・スポーツ・ダンス協議会)だけでなく、ICSSPE(国際スポーツ科学・体育協議会)にも加盟。

### ・ 構成員

部長 師岡 文男(総括・体育学会共催シンポジウム担当、上智大学)

副部長 山里 哲史(保健体育教育実態調査担当、東京女学館大学)

松本 秀夫(保健体育教育実態調査担当、東海大学)

工藤 和俊(教育評価担当、東京大学)

部員 太田あや子(体力測定結果調査担当、武蔵丘短期大学)

松井 泰二(保健体育教育実態調査担当、東京工科大学)

寺田 佳代(国際情報、国際基督教大学)

山本恵弥里(体力測定結果調査担当、東海大学非常勤講師)

二宮 雅也(保健体育教育実態調査担当、上智大学)

## 平成19年度 編集部事業報告

### ．基本方針

機関誌『大学体育』が、会員への情報サービス及び情報交換の場としてさらに充実するように努める。

### ．会議関係

#### 1．部会開催

- ( 1 ) 機関誌第89号に関して
  - 平成19年5月2日(メール)
  - 平成19年5月10日(メール)
  - 平成19年6月12日(メール)
  - 平成19年6月13日(メール)
  - 平成19年7月2日(メール)

- ( 2 ) 機関誌第90号に関して
  - 平成19年11月21日(メール)

### ．事業関係

#### 1．機関誌第34巻(第89号、第90号)の発行

第89号 平成19年7月15日発行

第90号 平成19年12月17日発行

### ．構成員

部 長：嵯峨 寿(筑波大学)

副部長：鈴木淳平(駒澤大学)

副部長：沼澤秀雄(立教大学)

委 員：後藤光将(明治大学)

成瀬和弥(筑波大学)

## 平成19年度 F D推進部事業報告

### ・基本方針

大学体育教育賞・奨励賞表彰制度や大学体育研究助成、大学体育 F D推進校表彰制度、調査研究などによって会員の F D活動を推進する。

### ・会議関係

定例委員会4回開催

審査委員会1回開催

### ・事業関係

#### 1．大学体育教育賞・奨励賞

平成19年度の表彰事務を担当し、奨励賞に森田啓氏（千葉工業大学）が決定した。

#### 2．大学体育研究助成

平成18年度に交付した研究課題の報告書(論文)を受け付け、平成19年度に交付する研究課題の監督管理、および平成20年度に交付する研究課題の募集と審査の事務を担当した。

平成20年度の研究助成には5件の応募があり、以下の3件に助成することが常務理事会で決定した。(このほかに次点として1件)

北徹朗(東海大学)「大学ソフトボール授業に適した視聴覚教材のあり方」

山津幸司(北翔大学短期大学部)「週1回の大学体育がメンタルヘルスに及ぼす影響」

清水安夫(桜美林大学)ほか4名「大学体育における野外教育活動の可能性の検討」

#### 3．大学体育 F D推進校表彰の実施

6大学から応募があり、審査の結果、以下の6大学を表彰候補として常務理事会で決定した。

(1)桜美林大学

(2)実践女子大学

(3)十文字学園女子大学

(4)千葉工業大学

(5)電気通信大学

(6)日本大学理工学部

#### 4．調査研究

以下の調査研究を行い、機関誌に報告した。

(1) 大学評価認識調査報告『大学体育』89号

(2) F D活動に関する実態調査『大学体育』91号(予定)

### ・構成員

部長 小林勝法(文教大学)

副部長 田中博史(大東文化大学)

奈良雅之(目白大学)

委員 富本靖(昭和女子大学短期大学部)

森田啓(千葉工業大学)

山内賢(慶應義塾大学)

柳田泰義(神戸大学)

以上

## 平成19年度 教育研究論文誌編集委員会事業報告

### 基本方針

大学体育学第5号の発刊

### 会議関係（メール会議）

第1回 投稿状況と査読のお願い

### 事業関係

#### 1. 論文審査

審査の結果、下記の6編掲載予定。

#### 2. 掲載論文一覧

原著論文

##### 1. 下田政博（東京農工大）他 4名

大学生の健康関連体力向上に対する教養科目「スポーツ・健康科学実技」の役割と大学教育におけるその意義

##### 2. 杉山 佳生

スポーツ実践授業におけるコミュニケーションスキル向上の可能性

##### 3. 松本裕史（武庫川女子大学）

女子大学生の身体不活動を規定する心理的要因の縦断的検討

#### 事例報告

##### 4. 荒井弘和（大阪工業大学）

傷害をおった学性を対象とした大学体育授業の効果

##### 5. 奈良雅之（目白大学）

大学保健理論における「インタビュー課題」導入の試み

#### 研究資料

##### 6. 小林勝法（文教大学）

2006年度にあった体育・スポーツの教員・研究者公募の状況

### 構成員

委員長 沼澤秀雄（立教大学）

副委員長 嵯峨寿（筑波大学）

委員 杉山 進（お茶の水女子大学）

委員 杉山千鶴（早稲田大学）

委員 友添秀則（早稲田大学）

委員 丸山剛生（東京工業大学）

支部推薦委員

委員 蓑内豊（北星学園大学）

委員 山本裕二（名古屋大学）

委員 小田伸午（京都大学）

委員 鈴木久雄（岡山大学）

委員 角南良幸（福岡女学院大学）

#### 編集協力委員

工藤和俊（東京大学）

宮田浩二（文教大学）

平成20年3月22日

## 平成19年度 将来検討特別委員会活動報告

### ・基本方針

今後の大学体育の将来構想を検討する。

### ・会議関係

第1回：平成20年3月13日（月）メール会議

### ・事業関係

1. 会費問題の検討  
校種別会費等の問題について資料を収集し、検討した
2. 大学体育綱領の検討

### ・平成19年度構成員

委員長：太田 あや子(武蔵丘短期大学)  
副委員長：井上千枝子(実践女子短期大学)  
委員：舛本直文(首都大学東京)  
森 正明(中央大学)  
高橋 光平(城西国際大学)

以上

平成 1 9 年度

社団法人 全国大学体育連合

各支部事業報告書

## 平成19年度 北海道支部事業報告

1月31日現在

### ・ 総会等会議

#### 平成19年度総会

日 時：平成19年11月11日(日)12:00~13:00

場 所：苫小牧ニューステーションホテル

内 容：平成18年度事業報告および決算  
平成19年度事業計画および予算

### ・ 研修会等事業

#### 合同シンポジウム

「健康とスポーツ科学の祭典 ゆうぱり2007 - 」

日時：平成19年8月28日(日)

場所：ゆうぱり文化スポーツセンター(〒068-0425夕張市若菜2番地)

責任者・報告：須田 力 (北方圏体育研究会)

社)日本体育学会 会 長：小林 寛道(東京大学)

北海道体育学会 会 長：城後 豊 (北海道教育大学)

大学体育連合北海道支部 支部長：佐々木 敏

#### 共催フォーラム

「19年度北海道体育学会共催フォーラム 氷上スポーツの未来 」

日時：平成19年11月10日(土)

場所：苫小牧ニューステーションホテル

#### 冬期実技研修会 「ヒールフリースキー」(予定)

日 時：平成20年3月1日~3月3日

協 力：北海道教育大学旭川校

場 所：北海道教育大学旭川校 校舎内 他

講 師：速水 修,古川 善夫,前田 和司(北海道教育大学旭川校)  
秋田谷英次(北星学園大学名誉教授)

備 考

### ・ その他の事業

なし

## 平成19年度 東北支部事業報告

### ( ) 19年度理事会・総会の開催

平成19年7月30日(月)に岩手大学にて開催し以下のことが承認された。

- ・平成18年度事業報告
- ・平成18年度決算報告
- ・平成19年度事業計画
- ・平成19年度予算計画
- ・役員改選について

### ( ) 冬期実技研修会の開催

平成20年1月7日(月)～9日(水)の2泊3日、安比高原スキー場・安比グランドホテルにて、大学体育指導者冬期実技研修会を実施した。参加者6名、指導者1名、本部スタッフ(事務局)3名、計10名の規模で実施した。天候に恵まれなかったが、日中は実技、夜は講演や討議等により研修を深めることができた。なお、今回はスキーのみの実技研修となった。

## 平成19年度 関東支部事業報告

### I. 総会等会議

#### 1. 総会

期日：平成19年9月15日（土）

場所：武蔵工業大学世田谷キャンパス

議題：役員改選

平成18年度事業報告及び決算

平成19年度事業計画案及び予算案

その他

#### 2. 理事会

第1回理事会 平成19年4月28日（土） 於：東京大学駒場キャンパス

議題：支部長推薦理事、監事の追加、第1回研修会について、他

第2回理事会 平成19年9月15日（土） 於：武蔵工業大学世田谷キャンパス

議題：19年度事業計画案及び予算案の確認、他

第3回理事会 平成19年12月8日（土） 於：東京大学駒場キャンパス

議題：第2回研修会について、19年度予算執行状況について、他

第4回理事会 平成20年3月15日（土）（予定） 於：東京大学駒場キャンパス

議題：研修会報告の取り扱いについて、他

### II. 研修会等事業

#### 1. 第1回研修会

期日：平成19年9月15日（土）

場所：武蔵工業大学世田谷キャンパス

演題：「あたらしい健康論 — 大学体育は学生を健康にするか」

講師：米山公啓先生

参加者：22名

内容：医師であり、また「脳が若返る30の方法」「健康という病」等の医療関係の作家としても活躍されている米山公啓氏を講師としてお招きした。

講演の中で米山氏は、数値データというものはいかに曖昧なものであるかを強調された。そのことを前提として、健康な状態とは数値化されたデータで表されるものではなく、本人の生き方や価値観、幸福感と深く関連しているものであり、「その人がもっている目標を無理なく追求できる状態」とであると定義された。

健康に関する話題は近年多くのマスメディアに取り上げられているが、その情報を鵜呑みすることなく、自分自身で考えることの重要性を改めて認識させられた。

#### 2. 第2回研修会（予定）

期日：平成20年3月15日（土）

場所：東京大学駒場キャンパス

演題：「ウォーキングセミナー = 教材としてのウォーキングを考える = 」

講師：岡田英孝先生（電気通信大学）、八田秀雄先生（東京大学）、杉本雅代先生（足と靴の研究所）、岩田昌子先生（セントラルスポーツ）

内容：最近ではピラティス、ヨガ、ウォーキング等を体育の教材として開講する大学が増えてきている。これらの教材が用意される背景には、他人との競争を伴わずに軽い運動により運動不足を解消し、強制されずに他の学生とコミュニケーションをとることができるという環境が学生の志向に合っ

ていると考えられる。

そこで今回の研修会ではウォーキングをテーマとして取り上げ、専門家による講演ならびに実技の講習会を併せて行う予定である。

### III. その他の事業

関東支部活動報告書（平成13年度～18年度）の作成および発行

埼玉女子短期大学公開講座「ヨガとコンタクト・インプロビゼーションー心身の健康・触れ合うことから始まるダンスー」の共催

#### 【公開講座概要】

10月6日（土）13：15～15：15

歩き回ることから始まり、床に座って全身のマッサージを行った。次に床に転がってから歩くワークの後、ヨガを行った。3分の休憩の後、2人組及び6人組でネガティブワークを行った。

10月27日（土）13：15～15：15

前半1時間はヨガを行い、後半はアイコンタクト、呼吸あわせ、息を吐いて床に転がる、肩の接触、背中の接触、手をつないで引っ張り合うなどのワークを行った。

11月10日（土）13：15～15：15

前半1時間はヨガを行い、後半はまず、二人組になって見えない糸で互いに引っ張り合って動き、続いて全員で同様に引き合って動いた。次に二人組みになって互いの両手の平を合わせてリーダーとフォロワーのワークをした。最後に全員で複雑に手をつなぎそれを解いて輪になるワークを行った。

11月24日（土）13：15～15：15

前半1時間はヨガを行い、後半はまず、一人で転ぶワークを実施した後二人組になって重ねている手を落として共に転ぶワークを行った。その後二人で押したり引いたりするワークを実施し、引き続き全員で行った。最後に全員でリズム遊びを行った。

## 平成19年度 東海支部 事業報告

### 総会等会議

#### 平成19年度東海支部総会

日時：平成20年3月15日

場所：南山大学 名古屋キャンパス 体育センター

- 議題：1) 平成18年度事業報告  
2) 平成18年度決算報告  
3) 平成19年度事業報告  
4) 平成19年度予算案の繰越金確定に伴う修正  
5) 平成20年度事業計画  
6) 平成20年度予算案  
7) その他

#### 第1回理事会

日時：平成19年 4月28日（土）

場所：南山大学 名古屋キャンパス 体育センター

- 議題：1) 理事長の選出  
2) 理事の役割分担  
3) 会計幹事の推薦  
4) 平成18年度 事業・決算報告  
5) 平成19年度 事業計画、予算案  
6) 夏期研修計画について  
7) その他

#### 第2回理事会

日時：平成19年 6月30日（土）

場所：南山大学 名古屋キャンパス 体育センター

- 議題：1) 平成18年度決算報告  
2) 平成19年度予算案の修正について  
3) 夏期研修について  
4) その他  
(1) 冬期研修について  
(2) 機関誌について  
(3) 次回理事会について

#### 第3回理事会

日時：平成19年10月20日(土) 東海体育学会終了後

場所：東海学園大学三好キャンパス 3号館1階312教室

- 議題：1) 印刷業者について  
2) 非加盟大学の名簿掲載について  
3) 夏期研修について  
4) 冬期研修について  
5) 総会について  
6) その他

#### 第4回理事会

日時：平成19年12月22日（土）

場所：南山大学 名古屋キャンパス 体育センター

- 議題：1) 平成18年度事業報告  
2) 平成18年度決算報告  
3) 平成19年度事業計画ならびに中間報告  
4) 平成19年度予算案の繰越金確定に伴う修正  
5) 平成20年度事業計画  
6) 平成20年度予算案  
7) 総会について  
8) その他

#### 研修会等事業

- ・平成19年度夏期実技研修会（東海・近畿地区合同開催）11名参加  
開催期間 平成19年9月9日（日）～11日（火） 2泊3日 現地集合・解散  
日程： 9日（日）16：00～17：00 受付、18：00～情報交換会  
10日（月）8：00～16：00 秘境五色ヶ原カモシカコースエコツアー  
秘境五色ヶ原シラビソコースエコツアー  
17：30～ グループ研修（反省会）  
11日（火）9：00～ゴルフ実技研修、実技研修終了後閉会式・解散  
秘境五色ヶ原シラビソコースエコツアー  
場 所： 秘境五色ヶ原、飛驒カントリークラブ  
研 修： 1. 秘境五色ヶ原エコツアー：ペンタピアスノーワールド出発  
2. ゴルフ実技研修：飛驒カントリークラブ
- ・平成19年度冬期実技研修会（東海・近畿地区合同開催）23名参加  
開催期間 平成19年12月26日（水）～28日（金） 2泊3日 現地集合・解散  
日程： 26日（水）12：00～12：30 受付 13：00～開会式  
13：00～実技研修、15：00～雪上救急法、  
17：30～雪上救急法講義、18：30～情報交換会  
27日（木）9：00～実技研修、13：00～実技研修、  
15：30～級別テスト  
28日（金）9：00～実技研修、11：30～閉会式・解散  
場 所： 平湯温泉スキー場（26・28日）、朴の木平スキー場（27日）  
実技内容：1. カービングスキーの上達法について  
2. スノーボードの初心者及び初級・中級者の指導法について  
3. スノースポーツ指導者の現場における雪上救急法について
- ・課題研究  
第1分科会：骨粗鬆症の予防に関する基礎的研究  
・大学生の骨密度、身体活動量、体格、生活習慣に対する意識調査
- ・研究誌の発行  
大学保健体育研究：第27号（平成20年3月発行予定）

#### その他の事業

協賛事業

名古屋市教育委員会スポーツ振興課  
(財)名古屋市教育委員会スポーツ振興事業団  
「健康・体力づくり実践相談」講師派遣

## 平成19年度 北陸支部事業報告

### 基本方針

研修会を通して新しい大学体育授業の展開について考える。

#### ・総会等会議

- 1) 第1回理事会 兼 第1回中央研修会実行委員会  
期 日：平成19年4月24日(火)  
場 所：富山大学人間発達科学部  
議 題：平成19年度北陸支部研修会研修内容について
- 2) 第2回中央研修会実行委員会  
期 日：平成19年9月18日(火)  
場 所：富山大学人間発達科学部  
議 題：1.平成20年度中央研修会実施要項の作成にむけて  
2.実行委員会の今後の進め方
- 3) 第2回理事会・総会、第3回中央研修会実行委員会  
期 日：平成20年3月14日(金)  
場 所：立山国際ホテル  
議 案：1)報告事項  
平成19年度北陸支部事業報告  
その他  
2)協議事項  
平成19年度収支精算書(案)について  
平成20年度事業計画(案)について  
平成20年度予算案について  
平成20年度中央研修会の準備について

#### ・研修会等事業

- 1) 平成19年度北陸支部夏期研修会  
テーマ：夏山におけるトレッキングの理論と実際  
目 的：夏季の弥陀ヶ原高原や立山の雄大な自然のなかで、安全に、快適に、健康的にトレッキングを実施する際の理論と実際を学ぶ。さらに、大学体育における野外教育の意義についても学ぶ。  
期 日：8月30日(木)・31日(金)  
会 場：立山(雄山)・室堂・弥陀ヶ原周辺  
国民宿舎 立山荘  
参加者：19名  
研修内容：1)弥陀ヶ原・室堂コース  
講 師：高橋 敬市 氏(写真家)  
2)弥陀ヶ原～天狗平～室堂コース  
講 師：渋谷 茂 氏(ナチュラリスト)  
3)立山(雄山)登山コース  
講 師：木戸 繁良 氏  
(社)日本山岳会支部長(前・富山県山岳連盟会長)  
4)講演：「登山の心得」・「立山の自然」・「山岳写真の撮り方」

#### ・その他の事業 特記事項なし

## 平成19年度 近畿支部活動報告

1) 6月30日 京都大学

理事会、総会、講演、懇親会

理事会、総会の内容

- ・平成18年度行事報告
- ・平成18年度決算報告
- ・平成19年度事業計画
- ・平成19年度予算案
- ・その他

講演

タイトル： あらためて身体動作をみつめなおす

～日本サッカーの現代、過去、未来～

講師：河端隆志 先生（大阪市立大学准教授）

<講演抄録>

わたくしたちが小さいころに教わったサッカーのキックは、「ボールの横に立ち足を置いて、蹴る方向へ向けてしっかりと体重をかけて蹴りなさい」というものでした。先日、デットマール・クラマー氏と会う機会がありました。恩歳82才でしたがグラウンドに立ちますと、まだまだ豊饒としたものでした。あるJリーグのユースチームを教えている場面でしたが、その内容は、1)ボールを受けるときに如何にコントロールするか、2)パスと同時に次のポジションへ動く、というものでした。いたってシンプルな言葉を用いた指導でしたが選手の動きは見違えるものに変化しました。

最近の我々の研究において、欧米諸国のトップレベルの選手と比較して、日本人選手のランニングフォーム、パス・シュートモーションなどにおける違和感の原因として歩・走動作やキック動作に根本的な相違があることが明らかとなりました。そこで今回は、サッカーにおける日本人選手の動作を通して、これまで伝わってきたもの、これから伝えなくてはならないものについて話題提供をし、皆さんとご一緒に考えてみたいと思います。



河端先生のユーモアあふれた熱弁

2) 12月1日 京都大学

シンポジウム、懇親会

各大学の体育実技、スポーツ活動の現状と課題

## 発表大学 発表者リスト

1 関西大学 安田忠典

### < 体育専門コースのある大学 >

2 天理大学 森井博之

3 大阪教育大学 生田泰志

4 武庫川女子大学 伊達萬里子

5 びわこ成蹊スポーツ大学 志賀充

### < 単科大学 >

6 聖トマス大学 中村泰介

7 奈良佐保短期大学 関智美

8 成安造形大学 畑佐泰子

9 京都外国語大学 辻浅夫

### < 私学総合大学 >

10 立命館大学 佐藤善治

11 近畿大学 熊本和正

12 京都学園大学 山下哲

### < 公立総合大学 >

13 大阪市大 河端隆志

14 東京大学 神崎素樹

15 京都大学 小田伸午

16 京都工芸繊維大学 来田宣幸



生田先生（大阪教育大）の発表

### 3) 9月9日～9月10日

#### 夏期研修会（東海地区と合同研修）

平成19年度大学体育連合近畿・東海地区の夏期実技研修会は、昨年に引きつづき東海地区のお世話で岐阜県平湯温泉に集合して開催された。昨年は近畿地区から3名の参加者があったが、今年は近畿地区からは1名の参加者で東海地区も入れて全員で10名の参加者であった。

9月9日夕刻に宿舎に集合し、夕食が情報交換会となり、次の日からの「心がまえ」が話題になった。実技研修第1日目は秘境五色ヶ原エコツアーの「カモシカコース」「シラピソコース」に分かれて出発した。昨年にカモシカコースを経験している参加者は今年はシラピソコースを歩き、初参加者はカモシカコースをトレッキングした。

トレッキングコース案内人の説明によると、乗鞍岳が火山活動をした時に長野県側へは火山灰が流れ、岐阜県側へは主に溶岩が流れた。その岩山がその後、長い年月をかけて神秘的な森林地帯となり、そこを近年岐阜県高山市が開発してトレッキングコースをつくったということである。

第1日目はカモシカコースへ初参加の2名が挑戦し、他の参加者はシラピソコースを回った。カモシカコースは別名「滝コース」といわれ、いろいろな滝を下からみたり、上から見たりと、そのたびに下へ降りたり、上へ登ったり、結局、カモシカコースは6.7km歩いた。シラピソコースは別名「池めぐりコース」とよばれて7.3km歩いた。第2日目は1日目にシラピソコースを回った参加者はゴルフ実技研修となった。初参加者の2名は1日目カモシカコース、2日目にシラピソコースと歩いたが、2日目には池田隆二先生（中部大学名誉教授）もシラピソコースに参加されて、その健脚ぶりには一緒に歩いた人々はびっくりした。案内人から希少な花々や高山植物の説明があり、また、完備されたコースを安全に無理のない速さで引率してくれたことは感謝するとともに印象に残っている。近年のウォーキングブームに合わせて、日本中のあちこちの人々がこの中部山岳国立公園飛騨・乗鞍山麓五色ヶ原へ来ると思われる。

今回でこの夏期実技研修会のエコツアートレッキングとゴルフ研修は終了するが、来年からどのような内容の実技研修になるか楽しみである。このたびの近畿・東海地区夏期スポーツ実技研修会を企画運営実施された、東海地区の先生方へ厚く御礼申し上げます。

近畿地区・京都外国語大学 大山 肇

### 4) 12月26日～12月28日

#### 冬期研修会（東海地区と合同研修）

平成19年度大学体育連合近畿・東海地区の冬期実技研修会は、昨年に引きつづき東海地区のお世話で岐阜県平湯温泉に集合して開催された。参加者は23名であり、近畿地区からは8名が参加した。今年の研修会では、近畿地区と東海地区だけでなく、関東地方からも3名の参加があり、全国的な広がりを感じさせるものであった。

12月26日正午に平湯温泉の宿舎に集合し、全体での開校式とオリエンテーションが実施された。その後、平湯温泉スキー場へ移動し、早速、初日の研修が開始された。今回のスノースポーツ研修はスキー研修とスノーボード研修の2つのコースから構成されており、スキー研修への参加者は18名、スノーボード研修への参加者は5名であった。

スキー研修には、初級者から上級者まで様々な技術レベルの方が参加したが、デモンストレーターおよび中日本自動車短大の水野先生による指導の下、充実した技術および技術指導の研修が実施された。スキー研修では大きく2つのグループに分かれて実施された。1つのグループは水野先生が講師をつとめ、水野先生が実際に初級者への指導をおこないながら、全体に対して実技および実技指導の講習をおこなうものであり、非常に参考になったとの声があった。また、もう1つのグループではデモンストレーターの方が講師となり、最高レベルの滑りを間近でみながらの研修であり、非常に得るものが大きかったようである。

スノーボード研修への参加者は全員が初心者・初級者であったために、岐阜女子大学の井上先生による丁寧な講習により、自分自身の上達を感じながら研修を実施することができた。実技研修1日目は平湯温泉スキー場にて実施され、2時間の実技講習の後、雪上救急法の実習が実施され、その引き方なども体験した。また、宿舎に戻った後、岐阜県スキー連盟安全対策部の方から安全に関する講習会が1時間程度開催され、スキー場で発生しうる

事故などについて改めて認識をしておし、今後の実技指導において安全に実施されてはじめて充実したスノースポーツとなることを確認した。

実技研修2日目は朴ノ木平スキー場にて実施された。午前2時間、午後2時間の実技研修が終わってから、スキーを選択した受講者のうち希望者がバッチテストを受検し、見事2級に1名、1級に2名が合格した。そのほかの受講者は自主研修として、各々の課題に取り組み、技術向上および指導力向上を目指した。実技研修3日目は、再び、平湯温泉スキー場にて実施され、スキー研修およびスノーボード研修ともに最後のまとめとして2時間程度の研修が実施された。

この3日間を通して天候に恵まれたこともあり、非常に有意義な研修を行うことができた。また、大きなけがや事故も発生することなく無事に研修を終えたことは講師やデモンストレーターの方をはじめ、裏方として支えていただいた東海支部の方々の力あってのことだと考えられる。

近畿地区・京都工芸繊維大学 来田宣幸

#### 5) 3月8日(土) 京都大学 (予定)

##### 理事会

- ・平成19年度活動報告
- ・平成19年度決算報告(1月末まで)
- ・来年度の活動計画
- ・その他

##### 講演、シンポジウム、懇親会

##### 大学体育とライフスキル

- ・講演 UK法による人間理解の原則から大学での体育指導への提言  
- スポーツ心理学(メンタルサポート)の立場から -  
船越正康(大阪教育大学名誉教授)
- ・シンポジウム
  - ・話題提供: ライフスキル研究会の活動  
横山勝彦(同志社大学)
  - ・話題提供: 実際の現場において  
来田宣幸(京都工芸繊維大学)

## 平成19年度 中四国支部事業報告

### 総会等会議

・支部総会1 日時 平成19年5月27日(日)12:00 - 13:00  
場所 香川大学教育学部

#### 決定事項

- 1) 中四国支部は5ブロックに分割し、副支部長は記述順に2ブロックから選出する。
- 2) 支部長は2名の副支部長より選出し、任期は2年とする。

・支部総会2(予定) 日時 平成20年3月29日(土)11:00 - 13:00  
場所 山口大学教育学部

協議事項 事業報告、会計報告、平成20年度以降の支部長および事業計画等

### 研修会等事業

研修会1(講演会:日本体力医学会中国四国地方会との共催)

日時 平成19年6月9日(土)17:00 - 17:50  
場所 倉敷国際学术交流センター

題目 『形が力を産み、力が形を造る - これまでの研究をふりかえって - 』

講師 福永 哲夫(早稲田大学)

研修会2(講演会:広島体育学会との共催)

日時 平成19年11月10日(土)13:05 ~ 14:20

場所 広島大学

題目 『JISSにおける競技力向上への取り組みと成果』

講師 平野 裕一(国立スポーツ科学センター)

研修会3(講演会:山口体育学会との共催)

日時 平成19年12月8日(土)14:10 ~ 15:00

場所 山口大学

題目 『骨格筋萎縮の抑制ならびに萎縮からの回復促進のための一試み』

講師 杉浦 嵩夫(山口大学)

研修会4 予定(講演会:岡山体育学会との共催)

日時 平成20年3月15日(土)13:00 ~ 14:00

場所 岡山理科大学

題目 『運動する時に摂取したい健康食品』

講師 木曾 良信(サントリー株式会社 健康科学研究所)

その他の事業 特になし

## 平成19年度 九州支部事業報告

### 総会会議等

#### 1. 理事会

第1回理事会 平成19年5月26日(於:福岡国際大学)

第2回理事会 平成19年8月27日(於:長崎シーボルト大学)

第3回理事会 平成20年3月13日(於:日本文理大学湯布院研修所)

事務局打ち合わせ(太宰府地区)会議(H20 / 2 / 16)

企画委員会(H19 / 7 / 21、9 / 18)

#### 2. 総会

期日 平成19年3月14日

場所 日本文理大学湯布院研修所

(大分県湯布院町川上茶屋の上33366 - 4)

### 研修会等事業

#### 1. 春期研修会:「体育・スポ - ツ・健康に関する教育研究会議」

期日 平成20年3月13日・14日

場所 日本文理大学湯布院研修所

(大分県湯布院町川上茶屋の上33366 - 4)

### その他の事業

#### 1. 「体育・スポ - ツ教育研究」第8巻第1号の発行

平成19年3月(発刊)

#### 2. 平成19年度全国大学体育連合中央研修会の実施

#### 3. 研究助成金制度の設置

#### 4. HPでの「大学生の心身の健康問題」枠の設置

#### 5. 科研費・基盤研究(B)調査の実施

以上